

2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アルファパーチェス
代 表 者 名 代表取締役 社長 田辺 孝夫
(コード番号：7115 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 齋藤 正弘
(TEL. 03-6628-8453)

2025 年 12 月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は最新の業績動向を踏まえ、2025年8月8日に公表いたしました2025年12月期の連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期連結業績予想の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

（1）修正の内容

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	61,975	1,510	1,500	1,050	107 円 80 銭
今回修正予想（B）	59,500	1,500	1,500	1,050	107 円 80 銭
増減額（B－A）	△2,475	△10	0	0	
増減率（％）	△4.0	△0.7	0.0	0.0	
（参考）前期実績 （2024 年 12 月期）	55,952	1,242	1,227	865	88 円 75 銭

（2）修正の理由

当社は、本日、第3四半期累計期間（2025 年 1 月 1 日～9 月 30 日）の決算発表を行い、当該期間までの業績、特に利益指標は好調に推移していることを開示いたしました。しかしながら、当社の連結売上高の 12.2%、仕入高の 6.3%（いずれも前会計年度の実績）を占める親会社アスクル株式会社（以下、アスクルといいます）が、本年 10 月 19 日にランサムウェア感染を理由に出荷および仕入を停止し、いまだ完全復旧には時間を要する見込みであるため、当社グループの第4四半期の MRO（Maintenance, Repair & Operations）事業の業績に大きな影響を与える恐れがあります。

また、当社の FM（Facility Management）事業の第3四半期までの売上は、前年比約 1 割減で推移しており、第4四半期については前年比増加に転じる見込みであるものの、改装工事の施工能力の限界から売上増のかなりの部分が来年度にずれ込む可能性が高まりました。これらのリスク要因を織り込み、今年度の売上高については、従来の見通しを約 4 %、下方修正致します。

一方、利益指標については、第3四半期までの利益率改善傾向の継続を織りこみ、営業利益段階では若干の減を見込むものの、経常利益段階以降では従来の見通しを維持します。ただし、この見通しは、アスクル経由の中小事業所向け出荷につき、アスクルの物流センターを経由しない顧客向け直送品については早期に出荷を再開でき、ある程度の売上が計上できることを織りこんだ数字であり、アスクルのシステム復旧スケジュールや最終顧客の動向次第では、更なる下方修正のリスクがあることをご承知おきください。当社 MRO 事業の最大顧客であり、かつ基幹サプライヤーでもあるアスクルとは、

代替的な仕組みの工夫や運用を含め、受注から納品までの業務プロセスの復旧に向けて全面的に協力し、お客様の利便性回復と当社業績の改善に向け全力を尽くしてまいります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	0 円 00 銭	35 円 00 銭	35 円 00 銭
今回修正予想		37 円 00 銭	37 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭		
前期実績 (2024 年 12 月期)	0 円 00 銭	27 円 00 銭	27 円 00 銭

(注) 期末配当金の予想の内訳には記念配当 5 円 00 銭含む

(2) 修正の理由

当社は普通配当の配当性向については当面 3 割とすることを配当方針としております。その方針と本日の業績予想から計算される期末配当予想額は、普通配当 32 円プラス創立 25 周年記念配当 5 円の合計 37 円となります。本年 8 月の業績予想修正時に当期純利益見通しの上方修正をしたにもかかわらず、期の半ばであることから配当額の見通しを変更していなかったため、配当予想は当初の予想である 35 円のままでしたが、今回、業績予想および配当方針通りの金額に修正いたします。

以 上